

危険回避能力とは

① “校則”の意味を知り、しっかり守ること。

- 校則には、「あなたに〇〇ができる生徒になってほしい」との願いが込められています。
- 学校は集団生活。人と人との間には、必ず一定のルールが必要です。
- 校則を守ることは、他者を気遣うこと。危険回避にもつながります。



② 深夜はいかいを避け、“夜10時までには家に帰る”こと。

- 不良行為のほとんどが、深夜はいかいかきつけかけになっています。
- そこで事件・事故に巻き込まれることが非常に多いので要注意。
- 夜は「家でしっかり睡眠をとる」ことが、皆さんのメンタル・ヘルスを守り、心と体の“危機”を回避することに繋がります。



③ 飲酒・喫煙の場面に近づかない、自ら企てないこと。

- お酒も、タバコも“ゲートウェイ・ドラッグ”（薬物乱用の入口）とも言われ、未成年者に対しては法で禁じられています。
- 集団飲酒で補導される生徒が後を絶ちません。自分で企画しない事はもちろん、もし誘われても“断固、NO!”



④ 合法ハーブは、“違法”です。あなたの心身を蝕みます。

- わざわざ「合法〇〇」と称するものは、「脱法ドラッグ」という言い方をすることもあり、その含有成分や作用は、「違法ドラッグ」そのものです。
- 脱法ドラッグは、あなたの心身を蝕み、いずれ、大麻や覚醒剤に手を出し、あなたの人生を奪います。
- 危険な作用のある脱法ハーブを摘発し、販売・使用を禁止できる「包括規制」という法律が適用されることとなります。



⑤ いじめ・暴力は、「しない・させない・見のがさない・近寄らない」こと。

- あなたの身の回りにも、小さないじめの芽はあると思います。小さなうちに「気づいて」、決して「見逃さず」、悪い「いじめの芽」は、早めに摘み取ってしましましょう。
- 悪しき交友関係、場所には、「決して近づかない」ことが、最善の危険回避です。



⑥ ケータイ・ネットの情報は、“いい情報”と“悪い情報”がある。ファイルリングをかけ選り取る力をつけよう。

- 信じてよい情報と、騙されてはいけない悪い情報を見抜くのは、あなたの「モラル」という危険回避能力です。
- 平成25年9月の本県高校生アンケートによると、コミュニケーション・サイト等で被害にあった生徒は、775名いました。内訳は、金銭的被害、暴力的被害、ストーカー被害、性的被害、その他の被害がありました。被害を立き寝入ると、次の大きな被害をうみます。必ず誰かに相談しましょう。



⑦ 家出や保護者に無断で外泊しないこと。

- 外泊をきっかけに、「集団飲酒」「深夜徘徊」などの不適切行動に繋がることが多くあります。
- 友だちの家に泊まるなどした場合、雰囲気は流されるなどの集団心理が働き、普段はとらない不適切な行動をとってしまうということもあります。
- 無断外泊をしないことも、重要な危険回避です。



⑧ 交通事故は心の隙間に突然襲ってくる、と知ること。

- 無免許運転はもちろん、車輛の免許所持者に限らず、「自分は大丈夫」という心理は、“油断”を生みます。
- 免許を持っていないくても、「同乗者」として事故に巻き込まれることもあるのです。
- バイクなど車輛を運転するあなた、アクセルをひねるその瞬間、大切な家族や友人の顔が思い浮かびませんか？





保護者・地域の皆さまへ

年末年始・冬休みにおける問題行動の未然防止のための取り組み

子どもによるお酒類の入手方法は、代理購入や家庭からの持ち出しが増加。家庭でのお酒の管理をしっかりしましょう。

未成年者の飲酒防止を！

「酒・煙草くらい…」という甘さは禁物。未成年者の飲酒及び喫煙は、「ゲートウェイ・ドラッグ」と言われ、更に危険な薬物への入り口となるケースもあります。また、未成年者の飲酒は、命にも関わります。子の未来を守りましょう。

イジメ・暴力！ させない！見のがさない！

子どもと真剣に向き合い、いじめのサインを見のがさないよう、「目配り 気配り 心配り」を！また、いじめられた側の9割が、いじめる側になるという結果報告もあります。家族の絆を深め、命の尊さを教えましょう。

在宅の 確認を！

無免許運転、酒気帯び運転、共同危険行為(暴走)、引き逃げなどで高校生の逮捕及び死亡事故も発生しています。深夜に発生していることが多いことから、子どもの「在宅確認」が、命を守ります！

交通死亡事故 ゼロを目指して

深夜はいかいは、事件・事故につながります。「地域の子は地域で守り・育てる」を合い言葉として、我が子を見守り、地域の子をみんなで見守り育てましょう。「声かけ」や「通報」も大切な役目です。

「我が子の見守り」と 「地域の見守り」を！

子どもを性犯罪等から守るため、携帯電話やスマートフォンからの有害情報をカットするフィルタリングをかけましょう。